

Mission3

長崎市の^{き しょう}希少種と^{がい らい}外来種を調査せよ。



今日は、長崎市の希少種や外来種を調べに行くんだよ。

希少種とか外来種って、なに？
食べられるの？



それ、知ってる！！
希少種は、数が（ ① ）生きもののこと。
珍しいからって、捕まえたりするのはダメなんだ。

①にあてはまる言葉を選んでみよう！！（答えは33ページにあるよ）

A 減っている B 増えている

☞ 「希少」とは珍しくて少ししかないという意味だよ。



外来種は、もともとその地域にいなかったのに、人間がペットを捨てたりして、ほかの地域から入ってきた生きもののこと。
その場所にいるほか生きものをたくさん食べたりして、どんどん数が増えるんだ。



^{たんじろう}炭次郎さん、よく知っているんだよ！すごい！

外来種の中には、ほかの生きものをたくさん食べるのもいて、
^{のうさくぶつ}自然や農作物にまで被害が^{ひがい}でたりするから大変なんだよ。

だから、外来種から地域のいきものを守るためには、外来種を
「入れない」「②」「^{ひろ}拡げない」の3つを守ることが大切なんだよ。

②にあてはまる言葉を選んでみよう！！（答えは33ページにあるよ）

A 買わない B 食べない C 捨てない

Mission3

長崎市の希少種と外来種を調査せよ。

【長崎市の希少種】

ニホンヒキガエル



NT
準絶滅危惧

★☆☆☆☆

分布 市内の山間部全域 **No.1**

RED DATA BOOK

大きさ 7 ~ 17cm

特徴 山地や人家周辺の雑木林に生育し、冬季、産卵のために山中の池や山際の水田に集まる。初春には真っ黒の幼生が群れをなして泳ぎまわるので、非常に目立つ。

ウミニナ



NT
準絶滅危惧

★☆☆☆☆

分布 市内各所 **No.2**

RED DATA BOOK

大きさ 3cm程度

特徴 市内ではホウジョウミナとして販売されていることがある。河口や内湾の泥～砂泥干潟に生息するが、砂礫浜でも見つかることがある。

アオダイショウ



NT
準絶滅危惧

★☆☆☆☆

分布 都市部を除く市内全域 **No.3**

RED DATA BOOK

大きさ 100 ~ 200cm

特徴 草色をした日本最大のヘビ。人家周辺にも生息し、ネズミ等を捕食することから家の守り神ともいわれ、昔は「いえぐちなわ」とか「ねずみとり」という方言で呼ばれていた。

テナガエビ



VU
絶滅危惧II類

★☆☆☆☆

分布 宮崎川・日見川・若菜川・浦上川・宮宿川・八郎川など **No.4**

RED DATA BOOK

大きさ 10cm程度

特徴 河川の下流域や汽水域に生息する。市内では主に橋湾側で見つかることが多い。同属のミナミテナガエビやヒラテナガエビに比べ少ない。

ニホンメダカ



VU
絶滅危惧II類

★☆☆☆☆

分布 大江川・大浦川・村松川・戸右川・江川など **No.5**

RED DATA BOOK

大きさ 3cm程度

特徴 市内では市街地を中心に生息地が減少している。市販されている個体を野外放流することによる遺伝的攪乱が心配される。

マナヅル



VU
絶滅危惧II類

★☆☆☆☆

分布 野母崎・樺島町・野母町・神ノ島町・稲佐山など **No.6**

RED DATA BOOK

大きさ 130cm程度

特徴 春の渡りでは、長崎上空を通過する。季節は2月中～下旬に見られることが多い。2002年に渡りに遅れたマナヅル1羽が神ノ島にしばらく逗留した。



全部で570種が選定されているんだよ。
 少しだけ紹介するね。

ニホンイシガメ

EN
絶滅危惧 I B 類

★ ★ ★ ★ ☆

分布 不明

No.7
RED DATA BOOK

大きさ
 甲長：22cm（最大）

特徴
 全国的にも減少傾向にあるが、長崎県では極端に減少し、まれに見つかる個体は放流個体と思われる。長崎市内の河川やため池は移入種のミシシippアカミガメとスッポンだらけになっている。

ハヤブサ

EN
絶滅危惧 I B 類

★ ★ ★ ★ ☆

分布 野母崎権島町・野母町・神ノ島町・宝町・伊王島町

No.8
RED DATA BOOK

大きさ
 雄 40cm 程度 雌 50cm 程度

特徴
 県内でほぼ周年見られる。9月から3月にかけて越冬する個体を見る機会が多い。隣接する西海市では繁殖が確認されている。市内のホテルを縄張りしている。

キクガシラコウモリ

EN
絶滅危惧 I B 類

★ ★ ★ ★ ☆

分布 市内に散在する防空壕跡

No.9
RED DATA BOOK

大きさ
 体長 6～8cm 程度

特徴
 冬眠しているときは翼で全身を覆い隠している。洞窟に生息し、夕方に小昆虫を求めて飛び立ち、明け方にもどる。主な生息環境の洞窟の減少により、個体数も減少している。

ツチアケビ

CR
絶滅危惧 I A 類

★ ★ ★ ★ ☆

分布 市内に散在する防空壕跡

No.10
RED DATA BOOK

大きさ
 高さ 60～100cm

特徴
 林下や林縁に生育する腐生ランで、初夏に茎を伸ばし、全体が褐色で所々に鱗片葉をつける。秋に全体が赤いウィンナーソーセージのような果実をつける。

ハッチョウトンボ

CR
絶滅危惧 I A 類

★ ★ ★ ★ ☆

分布 旧琴海町・旧外海町など

No.11
RED DATA BOOK

大きさ
 体長 2cm 程度

特徴
 日本一小さなトンボとして知られる。可憐なトンボでミズゴケが生える休耕田湿地に生息する。県内でも希である。

ニホンイトヨ

EX
絶滅

★ ★ ★ ★ ★

分布 -

No.12
RED DATA BOOK

大きさ
 体長 5cm 程度

特徴
 1936年に浦上川河口から約4km上流で2個体が採集されている。以降記録がなく絶滅とした。絶滅の原因は不明。

Mission3

長崎市の希少種と外来種を調査せよ。

【長崎市の外来種】

コウライキジ



定着予防

分布
記録なし

No.1

外来種リスト

大きさ
全長 雄 85cm 雌 50cm 程度

特徴
日本鳥学会鳥類目録第7版2012によると、長崎県本土域では留鳥とされている。本土域で増殖するキュウシュウキジと容易に交雑するとされ、ニホンキジの純粋種が失われる問題がある。

コブハクチョウ



影響わずか・不明

分布
神浦漁港

No.2

外来種リスト

大きさ
全長 125 ~ 160cm

特徴
原産地はヨーロッパで、日本には飼鳥として、ヨーロッパから移入したものが公園などで飼育された。しかし、飼育個体の一部が野生化し、各地に定着している。

ツマアカスズメバチ



定着予防

分布
定着なし

No.3

外来種リスト

大きさ
体長 23 ~ 30mm (女王バチ)
20 ~ 25mm (働きバチ)

特徴
インド・東南アジア・中国から韓国にかけて分布。体色は全体に黒色だが腹部の先端は赤褐色。主にミツバチなどの昆虫を捕食する。攻撃性も強いので巣に近づくと危険である。

セアカゴケグモ



定着予防

分布
定着なし

No.4

外来種リスト

大きさ
雄 3 ~ 4mm 雌 12 ~ 15mm

特徴
オーストラリア原産で日本では1995年に大阪府で初めて発見された。雄に赤い斑紋はなく、毒を持つのは雌のみ。生息場所は、排水溝の側面やふたの裏、花壇まわりのブロックのくぼみや穴など暖かい場所を好む。

ミドリイガイ



影響あり

分布
長崎湾・伊王島

No.5

外来種リスト

大きさ
殻長 10cm

特徴
二枚貝の一種で、いわゆるムール貝の仲間。緑色を呈することが特徴。国内では1960年代に持ち込まれた。長崎湾では、防波堤護岸の側面や浮き桟橋の壁面などによく付着しており、生態系への影響が心配される。

ミシシippアカミミガメ



影響あり

分布
中島川などの河川・ダム湖・池

No.6

外来種リスト

大きさ
雄 20cm 雌 30cm 程度

特徴
幼体は「ミドリガメ」の商品名で販売され、1970年代ごろから日本全域で目立ち始めた。野外個体はペットの放流や逃亡が中心である。長崎市内にも多数生息し、一部では自然繁殖している。



全部で174種が選定されているんだよ。



のマークは他の生きものや人間にすごい被害を与える

「特定外来種」を表しているよ。

オオカナダモ

影響大きい

分布 川原大池ほか市内の池や川 No.7

外来種リスト

大きさ 長さ 1 ~ 5m

特徴 貧栄養の水中でも生育でき繁殖力が強い。水中に一面に広がり、在来の水草を駆逐してしまう。捨てられて野生化したものと考えられ、ピオトープの中にも多く見られる。駆除することは大変難しい。

ホテアオイ

影響大きい

分布 市内全域の溜池 No.8

外来種リスト

大きさ 高さ 0.1 ~ 1.5m

特徴 観賞用に導入されたが、各地の溜池や水路などに繁殖し、水面を覆いつくすため、在来の水草を駆逐する恐れがある。冬には枯れるが、繁殖後に枯れるため、腐敗し水が汚染される。

アライグマ

影響あり

分布 市内北部 No.9

外来種リスト

大きさ 頭胴長 42 ~ 60cm
尾長 20 ~ 41cm

特徴 北米原産でタヌキとよく似た形態。動物園では人気者である。捨てられたペットが野生化し、県内では増加中。県北で農業の被害が増加しているが、生態系への影響も心配されている。

ウシガエル

影響わずか・不明

分布 市内全域のダム湖・池・河川 No.10

外来種リスト

大きさ 頭胴長 15 ~ 20cm

特徴 北米から食用として持ち込まれた。戦後しばらくはアメリカ等に輸出されていたが、外に捨てられた個体が全国に広がった。大きな鳴き声が騒音公害となるほか手当たり次第に捕食するため生態系へ影響が大きい。

アメリカザリガニ

影響大きい

分布 永田町・八郎川水系 No.11

外来種リスト

大きさ 体長 12cm 程度

特徴 北アメリカ原産で国内には1927年にウシガエルの餌として持ち込まれた。市内全域までは広がっていないが、一部の地域では大量に生息。水生昆虫類を捕食し、水草を傷めるなど生態系への被害が大きい。

オオクチバス

影響大きい

分布 鹿尾ダム・神浦ダム・宮崎ダム・川原大池など No.12

外来種リスト

大きさ 体長 12cm 程度

特徴 北アメリカ原産で1925年に国内、2年後に島原半島に持ち込まれた。魚類や甲殻類を主に捕食する大食漢で、在来の魚類やエビ・カニ類に対して影響が大きい。